

# じちろう鳥取

自治労鳥取県本部  
発行責任者  
西村 裕生  
編集人  
教育宣伝部  
〒680-0814  
鳥取市南町505番地  
自治労会館  
TEL 0857-24-1851  
FAX 0857-37-0090  
ホームページ  
http://www.jtottori.jp/  
定価 15円  
(組合員の購読料は  
組合費の中に含む)

紙面に関するご意見は  
e-mail  
jtottori@j-tottori.jp  
またはFAXにて。

## 第241号の紙面

CONTENTS

1面 人員確保・男女平等推進闘争  
中国地連現業組織集会

2面 県本部共済集会

◆今後の予定◆  
○県本部第9回保育集会  
◇とき 7月8日(日) 10時~15時30分  
◇ところ 三朝町 湊泉閣



## 春闘継続協議事項の決着を

### 2018 人員確保闘争・男女平等推進闘争

#### I 人員確保闘争

18春闘で、「職員募集期」までの決着を確認していることから、採用人数の明確化を職員募集に間に合わせるたたかひとなります。

昨年闘争の総括時に、「日程が男女平等推進闘争と同時にあったために、たたかひ難さがあつた」との単組からの指摘があり、日程を見直して六月十四日ヤマ場、十五日を統一行動日としました。

#### II 男女平等推進闘争

人員確保闘争と同様に、春闘確約書の具体化を獲得するたたかひとし、闘争日程は六月二十一日ヤマ場、二十二日が統一行動日です。

#### 【取り組みの柱】

①職場・地域の男女平等の推進 (男女間格差の是正)

鳥取県女性活躍推進課が三月に発行した「鳥取県男女共同参画マップ」を参考に課題解決を進めます。

②職場・地域のワークライフバランスの推進  
行動指針の策定や、その具体策を講じます。

③職場・地域の社会的格差の解消  
臨時・非常勤等職員の格差解消を進めます。

特に二〇二〇年四月施行の「会計年度任用職員」制度について、総務省が昨年八月に発出した「会計年度任用職員制度の導入に向けた事務処理マニュアル」に示されたスケジュールによって、17確定闘争期と18春闘期で現状の実態把握を確認しました。

さらに三月二十七日に発出された「会計年度任用職員制度の準備状況に関する調査」についても、

労使協議を経て提出することを確認します。

④職場・地域でのハラスメントのない職場づくり  
あらゆるハラスメントのない安全で快適な職場の実現のため労使一体となった取り組みを実施します。

⑤職場・地域でLGBTに関する

## 非正規職員の処遇改善を 公務職場でワーキングプアを許すな

#### 【18現業組織集会】

中国地連現業評議会は、五月十九日~二十日に米子市で18組織集会を開催し、各県から九十五人の仲間と議論を深めました。



「岸まきこ」さんが激励のあいさつに訪問されました

今集会は、現業労働者が直面する課題の克服と、喫緊の課題の臨時・非常勤等職員の仲間づくり(組織化)をテーマにしています。

#### 中央本部 小迫現業局長提起

「現業労働者を取り巻く情勢と

理解を深める

理解を深め、必要に応じた職場改善を進めます。

⑥独自の課題解決や昨年までの確約書の履行  
春闘並びに今闘争で「賃金」以外の課題を解決し、18確定闘争に向かっていきましょう。

課題」として、これ以上公務職場でワーキングプアを許してはいけないこと、非正規の処遇改善が重要であり、そのためにも組織化が必要であるとの提起がありました。

#### 中央本部 野角組織拡大局長講演

「地方公務員法、地方自治法の改正内容と、臨時・非常勤等職員の処遇改善、仲間づくりに向けた単組の取り組み課題」として基調講演され、自身の図書館勤務経験を基に改正法の問題と今後の現業評議会が果たしていくべき役割などについて、講演がありました。

#### 単組報告

##### ●尾道市職労

六百人の非正規がいるが組織化が進んでいなかった。組織化を決

鳥取県本部は  
「岸まきこ」さんを  
推薦しています。



現在、「岸まきこ」後援会入会を全組合員の取り組みとして進めています。皆さんの、いっそうの取り組みをお願いします。

意思、学校用務職場の設立について準備会を発足し、十三人中九人の参加があつた。これをきっかけに全体の組織化に取り組めるようにしたい。

##### ●美作市職労

嘱託職員について、昨年四月から、十五分の勤務時間の短縮をされることが決定的事項として当局から通知された。当時は深く考えていなかったが、岡山県本部の学習会に参加し、パートタイムになつてしまふと思った。フルタイムに戻す取り組みをしていくとともに、非正規の方と協力しあつて頑張りたい。

##### ●八頭町職労

数年前から、学校給食センターの民間委託という話が当局との交渉中に出てくる。これを機に民間

#### まとめ (小迫局長)

小迫局長は「現業の歴史の中で、昔は現業職場は臨時・非常勤の職場だった。先輩方の運動で我々が正規として働く職場に位置づけられた。今の非正規化の流れに我々がおかしいと声を上げていくことを共通認識としてほしい。一緒に闘うことが組織化の意味。不条理なことに対して、一緒におかしいと言ふことが運動の根幹である」と話されました。

二日目は、班に分かれ仲間づくりの模擬オルグを行い、参加者からは今後の取り組みに活かしたいとの意見もありました。

第2回  
**実践的な講座で共済の理解を深める**  
 (県本部共済集會)

五月十九日(土)、米子市の国際ファミリープラザで第2回県本部共済集會を開催し二十八単組八十一人が参加しました。

初日の全体会では、西村共済推進委員長が主催者を代表してあいさつをし、共済運動の始りは労働運動の始まりであることに言及するとともに、参加者が集会で学んだことを現場で実践し、共済加入の拡大に向け積極的に取り組むことの重要性について述べました。



そして、来賓として自治労本部・袖谷中央副委員長、全労済自治労共済本部・牧野常務理事、全労済鳥取推進本部・五十嵐本部長のあいさつをいただき、ともに力強く共済運動の推進を図っていくことを述べられました。

**【全体講演】**  
 全体講演では、株式会社アプレココミュニケーションズの鹿野和彦代表が

「労働組合の今と共済運動を推進する課題」と題して労働組合と共済運動の必要性を解説していただきました。共済運動の推進に欠かすことのできない「伝える力」や課題解決のためのスキルなどについて講義を行い、理解を深めることができました。

**【事例報告】**  
 取り組み重点単組となっている米子市職労、県職連合の二単組から、自主福祉運動のための創意工夫にあふれた特徴的な取り組みの報告がありました。

**【分科会】**  
 各講師から共済活動に役立つ情報や取り組みのヒントとなる内容を盛り込んだ講座が開かれ、それぞれの分科会参加者は熱心に耳を傾けていました。

各分科会の内容：講師は、第一分科会「ライフプランと保障設計」、CFP瀬戸家みのりさん(FPハーベスト)、第二分科会「知って得する年金セミナー」一年金額から見る退職後の生活と対策」、CFP宮下貴博さん(生活経済



第1分科会講師  
**瀬戸家みのりさん**

研究所長野)、第三分科会「労働者自主福祉活動の課題と実践」、牧野達成さん(全労済自治労共済本部常務理事)で行わ

**「岸まきこ」さん立憲民主党で擁立**



立憲民主党  
 参議院比例第13総支部長  
 持続可能な社会を創っていこう!

**岸まきこ**

自治労本部は、五月二十五日(土)に東京T.O.C有明で、第一五五回中央委員会を開催しました。全国から中央委員・傍聴あわせて約六百人が参加し、すべての議案が賛成多数で可決されました。また、今中央委員会では鳥取県本部椎木副委員長(伯耆町職労)が議長として、活躍されました。

自治労本部は、立憲民主党について、昨年十二月にまとめた綱領および基本政策は、自治労の政策とおおむね一致しているとして、第一五四回中央委員会でも立憲民主党の支援を確認しました。また、①すべての原発の速やかな停止・廃止の実現をめざす「原発ゼロ基本法案」の提出、②政府の「働き方関連法案」の対案として、労働者保護をより強く打ち出していること、③保育士、介護従事者の処遇改善や人材確保のための議員立法に向けた準備を進めていることなど、働く者のための政策や自治労の政策実現に向けた積極的な対応と評価できることから、比例代表選挙の組織内候補予定者である「岸まきこ」さんを、立憲民主党から擁立することを提起・承認されました。

参加者からは「非常に勉強になりました。新採にも同じように説明したい」「初めて自分の年金について考えることができ、大変よかったです」「グループワークで課題などを見つめ直せました」といった声アンケートにありました。

本集會の開催目的は①自治労の共済推進運動が組織的な取り組みとなるように、単組の共済推進委員、担当役員との経験の交流を図る②単組・職場での実践的に活用できる取り組み事例などを共有化する③学習したことをすぐに現場で活用してもらうように意識を高める④推進担当者の技能向上を図り、交流を通して推進活動の広がりを

**2018年度県本部自治研集會**

**さあ、自治研を知ろう! やってみよう!**

日時 2018年7月14日(土) 13:30~  
 場所 まなびタウンとうはく  
 内容 活動報告 ・米子市職労  
 ・江府町職労  
 ・北栄町職労  
 講演会 「あなたの自治研ストーリー」  
 講師 自治労愛媛県本部  
 特別執行委員 西尾 祥之さん  
 問合せ 自治労鳥取県本部 浅井・櫃田

図る。としており、目的の一つである経験の交流を図るべく全体交流会を行い集會を終えました。

ZENROSAI NEWS 5114V308

# じちろうセット共済

新規/継続募集のご案内

ぜひ、この機会に保障 死亡保障 医療保障 の点検を!  
 自治労共済協会の組合員用の掛金で利用できます。

年に1度のチャンス

共済期間 2019年1月1日~2019年12月末日

申込書類提出先 所属の労働組合

申込書類提出期限 所属の組合に確認して下さい

団体生命共済 → 入院は日帰りから。連続5日以上成人病入院はさらに手厚く。そして各種通院共済金や手術共済金。もちろん死亡保障も。

組合員本人(~60歳) E型 2,790円で、死亡700万円+入院日額2,000円の保障

将来のために今からはじめる

長期共済 税制適格年金 → 退職後のための積立型の共済。

親子共済 → 教育資金のための積立型の共済。

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。 全労済自治労共済本部鳥取県支部 TEL: 0857-21-3300

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。 自治労共済本部

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。